

伝統×ハイレベルな教育メソッド 最難関国公立大をめざす学びの場に



プロフィール

〒183-8531
東京都府中市栄町1-1
TEL.042-368-5117
JR「国分寺」駅、または京王線「府中」駅より京王バス「明星学苑」下車、徒歩7分。JR「北府中」駅より徒歩15分
institution.meisei.ac.jp

主体的に行動できる力を養成 高度な教育を提供する学校に

——MIをどのような学校にしたいとお考えですか。

井上 MIの教育理念は『「主体的に自分を育成できる人間力」の涵養』です。わたしがこれまでに経験してきた教育メソッドを活用した高度なカリキュラムと、グローバル教育、キャリア教育を通じて、社会で活躍する次世代のリーダーの育成をめざします。

さらに、伝統ある明星学苑の教育方針の一つ「実践躬行」の精神に基づき、自分で考え行動できる、主体性を持った人間力の育成にも努めます。

——「Institution」に込めた思いをお聞かせください。

明星Institution中等教育部

2026年4月、100年以上の歴史を持つ明星学苑に、新たに「明星Institution中等教育部」（以下、MI）が開設されます。明星学苑の伝統的な教育方針の一つ「実践躬行」と、校長の井上一紀先生が経験してきた教育メソッドとの融合で、高度な学力とモチベーションの構築、主体的な人間力の向上を図ります。ここでは井上先生に開校に向けた思いを伺いました。

井上 校名の由来はわたしがシンガポールで教員をしていたころに交流のあった現地の名門校「Raffles Institution」です。同校は先進的な教育により、イギリスの「オックスブリッジ」をはじめとする、世界の名門大学への進学者を毎年輩出しています。「中高一貫校」という意味を持つ「Institution」には、ハイレベルな教育を展開する進学校という意味が込められています。

3ブロック制とMIシラバスで 能力を最大限に引き出す

——カリキュラムにはどんな特徴がありますか。

井上 前任校で培った教育メソッドを基盤に、最難関国公立大への進



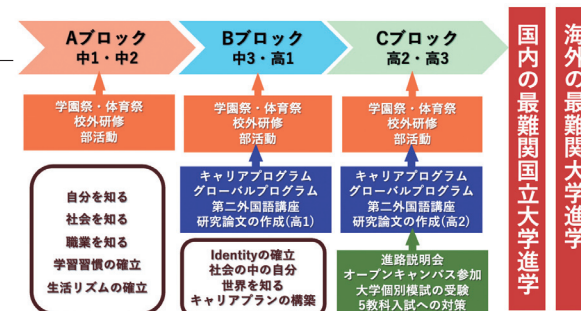
学苑の創立者の氏名が冠された「児玉九十講堂」。約1200名を収容でき、学苑の主要行事や各種式典の場となっています

学を想定したカリキュラムとしました。中高6年間でA（1・2年）、B（3・4年）、C（5・6年）の3ブロックに分け、Aブロックでは学習習慣、生活リズムといった自分自身の基盤作りを行います。

次に、BブロックではAブロックで培った基礎力をベースに、海外研修や自分でテーマを決めて取り組む学術研究論文の作成などを通して、強固なアイデンティティの確立を図ります。

最後のCブロックでは、まず最難関国公立大受験に対応できる高度な学力養成をめざします。さらに、社会で求められる課題解決能力やコミュニケーション力も育み、社会で必要となる課題解決に立ち向かう力も養成します。

このプログラムを進めていくうえで重要な役割を担うのが、1年間の授業計画表「MIシラバス」です。これには授業内容、学習目標などが明記されており、生徒はMIシラバスを通じて「何のために学ぶのか」「学ぶことで何が得られるか」を確認、把握できます。それによって学習の意味を理解するとともに、主体的に段階を踏んだ成長を遂げられ



MIでは6年間で3ブロックで構成。高度な学びを合理的、効率的に提供します



「スタードーム」と名づけられた天体観測ドーム。望遠鏡には星の自動追尾システムなど、最新の機能が搭載されています

るのです。

——グローバル教育やキャリア教育はいかがでしょうか。

井上 グローバル教育は単なる英語学習ではありません。生徒には居心地の良い環境＝コンフォートゾーンから一歩踏み出す勇気を育んでほしい。そして、日本とは異なる外の世界を、身をもって感じてほしいと思います。本校では全員参加の海外研修、国際交流のほか、第二外国語の授業なども予定しており、海外の難関大を希望する生徒に対しても十分に対応できるように準備を進めています。また、明星中学校・高等学校で実施されている希望制の海外研修プログラムへの参加も可能です。



校長 井上一紀先生

キャリア教育はGlobal（国際性）、Leadership（指導力）、Foresight（先見性）、Curiosity（知的好奇心）、さらにみずから考え行動して社会を変えていく力を意味するAgency（主体性）の五つをベースに展開していきます。各界の最前線で活躍されている方々の講演会など、生徒の「将来、どんな自分になりたいか」という問いに大きな刺激を与えられるようなプログラムを企画しています。——**将来を見据えたプログラムが充実していますね。**

井上 人間形成の部分では部活動や行事などが重要となるため、学習面と生活面の両立のなかで自分自身がわくわくするような目標を見いだしてほしいと思います。将来、明るい社会を実現するためには、自分たちの未来を肯定的にとらえる視点が重要だと強く思います。

充実した環境を共有しながら 学苑全体をリードしてほしい

——入試のポイントをお聞かせください。

井上 募集人員は一般60名、帰国生5名、国際生（国内インター生）5名の計70名で、入試は一般4回（4科2回、2科2回）、帰国生1回、国際生1回の計7回実施します。付属小学校から入学する生徒も想定しているため、募集人員の内訳には多少調整が入る予定です。

——最後に、受験生と保護者の方々にメッセージをお願いします。

井上 同じ敷地内であることから、部活動や行事など、明星中学校・高等学校と共有する部分が多々あります。MIの生徒には明星学苑全体を引っ張っていく気概を持ってほしいと思います。一方でMIの教員は、前任校からともに移ってきた者と前任校の卒業生を中心にそろえました。その経験値を考えると、理想の実現には自信があります。

自分の未来のために中高6年間で全力を尽くしたい方、最難関国公立大への強い志を持つ方に、ぜひ入学していただきたい。本校に対する“ときめき”を感じていただけたなら、お気軽に説明会にお越しください。

サビックスの One Point Check!

シンガポールで13年間の教員経験を持つ井上先生。「国籍、人種、宗教など、さまざまな文化が共生するシンガポールは世界の理想形と感じました」と、当時を振り返ります。「ニュースで世界を見るだけでは成長しません。外に出て経験することで初めて見えてくるものがあります。生徒にはそれを体感してほしいですね」と語ってくれました。

📄 スクールデータ ▶ P.460-461